

イベント スケジュール 2004.3-4

ART

ひと・アート・まち兵庫
こうべ元町1300年記念
ストリートミュージアム
3/2(火)29(月)
元町商店街・まちづくり会館
元町みなせ画廊(5丁目) 他



元町商店街をアートに

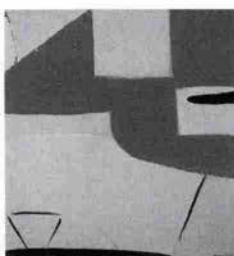
神戸元町商店街全域を使っ
てくりひろげられるアート・
プログラム。作家や兵庫県
内の障がいのある人たちの
作品がアーケードを彩る
「タペストリー展示」、お店
のイメージに合わせた「ア
ーティストたちがつくった
「アートな看板」、パフォー
マンスなどが行なわれる。
老舗がなご商店街を舞台
に、どんな才能が彩るのか、
もとむらを楽しみたい。
元町みなせ画廊(3/4
5) 15、4丁目のこうべま

ちづくり会館(3/19、23)
では、障がい者とアートと
の出会い、その作品と創造
活動の軌跡を紹介する「ア
ートリンク2004」が開催
される。

小磯記念美術館 特別展「岡田謙三展」

開催中(4/11日)
10:00~17:00 月曜休館
神戸市立小磯記念美術館
(六甲ライナー「アイランド北口」
駅)
一般700円 高大生500円
078-85715880

日本、アメリカをはじめ、
国際的に高い評価を受けて
いる岡田謙三(1902-
82)の生誕100年、没
後20年を機に開催される本
展は、国内コレクション、
アメリカの美術館の所蔵品
(日本初公開作品含む)を
加えた、約110点の作品
と資料を一堂に紹介する。
3月9日以降、一部の展示



「元禄」1967年 東京国立近代美術館蔵

作品が入れ替わるので、お
見逃しなく。
岡田謙三は、第二次世界
大戦後の1950年、新た
な可能性を求めてアメリカ
に渡る。ニューヨークで抽
象表現主義と出会う中、抽
象絵画に日本的な美意識や
自然観などをとり込んだ独
自の画風を確立。その芸術
世界は「幽玄」の語からとつ
た「ユーゲニズム」と名づ
けられ、国際的に高い評価
を受けている。

CINEMA

市民映画劇場3月例会 「セブテンバー11」

3/19(金)20(土)
11:00/13:35/16:10/19:00
前売一般1300円
当日一般1500円
シアター1100円
神戸朝日ホール(大丸から東へ50
m)
■問合せ/神戸映画サークル協議会
078-133118538



2001年9月11日、ニュー
ヨークを皮切りに起こった
同時多発テロ事件。この事
件とその教訓を決して風化
させないため、世界各国か
ら11人の監督がそれぞれの
視点による短編を制作し、
日本の作品を完成させた。
作品内容は各監督にゆだね
られているが、各編に共通
するのは「9月11日」をテー
マに、事件の日付にちなん
だ「11分9秒1フレーム」の
長さで完成させること。
参加した監督は、サミラ・
マフマルバフ(イラン)、
クロード・ルルーシュ(フ
ランス)、ユーセフ・シャ
ヒーン(エジプト)、ショ
ーベン(アメリカ)、今
村昌平(日本) など世界11
ヶ国から11人。

MUSIC

ゆうきじゅん ブチ・ディナーショー

3/17(木)19時
ピアジュリアン(JR三ノ宮駅北
側すぐ)
5000円(軽食・1ドリンク込)
■問合せ/おもちや箱カンパニー
078-882114356

女優として、歌手として
活躍するゆうきじゅんの小
さなディナーショー。シャ
ンソン、シネマミュージッ
ク、ポップスと幅広いジャ
ンルで、アットホームなラ
イブを。クラシック・ライ
ブハウス「ピアジュリアン」
で楽しいひとときをお過ご
してください。
ゆうきじゅんの今年のス
テージは今回が最後。しば
らくステージ活動をお休み
し、ラジオ出演やレッスス
ン活動のみを行なう。



神戸映画サークル協議会
が毎月開催している「市民
映画劇場」は、4月例会より
(海員会館内)に変わる
(阪神西元町駅より徒歩3
分)。JR神戸駅より徒歩5
分。
4月例会の上映作品は、
ルキノ・ヴィスコンティ
監督作品「熊座の淡き星影」
(1965年)。
※チケットプレゼントあり

●ライブハウス・スケジュール 3月

■チキンジョージ

TEL.078-392-0146

http://www.chicken-george.co.jp

- 5 (金) ゴーイングアンダー・ヘアー
- 9 (火) PE'Z
- 10 (水) J&B
- 11 (木) Deep Drip Vol.6
- 12 (金) KORENOS
- 13 (土) プリズム
- 19 (金) PERSONZ
- 23 (火) センチメンタル・シティ・ロマンス
- 25 (木) FINE AIR NIGHT Vol.3 ~girls style
- 27 (土) 別所ユージ
- 28 (日) TRICERATOPS
- 4/2 (金) La'Cryma Christi
- 3 (土) ロードオブメジャー/ザ・ルーズドッグス/BOO BEE BZZ

■ピアジュリアン

TEL.078-391-8081

http://www.pia-julien.com

- 4 (木) 小笠原薫(vn)山内尚子(p)
- 5 (金) 中島悦子(viola)田中靖子(p)
- 6 (土) 奥野香織(p)
- 9 (火) 折川真理(vn)林典子(p)
- 10 (水) 櫻井孝子(sp)片桐えみ(p)
- 11 (木) 龍智子・近藤美香(p)
- 12 (金) 鈴木華重子(p)
- 14 (日) 西本淳(sax)原田恭子(p)
- 16 (火) 久保田裕美(fl)植田浩徳(p)
- 17 (水) ゆうきじゅん
- 18 (木) 本吉優子(vn)田中靖子(p)

- 19 (金) 西本淳(sax)植田浩徳(p)
- 20 (土) 奥野香織(p)
- 21 (日) 中島悦子(vn)山内尚子(p)
- 23 (火) 木澤香保(sp)大西有紀(p)
- 24 (水) 高橋素子(vn)山内尚子(p)
- 25 (木) 武村美穂子(fl)藤沢優子(p)
- 26 (金) 鈴木恵美(sax)森玉美穂(p)
- 27 (土) 近藤美香(p)
- 28 (日) 金澤佳代子(p)モーツァルトシリーズ
- 31 (水) 藤沢優子企画/榎田雅祥(fl)

■Holly's

TEL.078-251-5147

http://kobe-hollis.com

- 4 (木) 大内玲子(p)他
- 5 (金) 山本容子(p)他
- 6 (土) 雨宮千晶(vo)植田良太(p)前田洋二(b)
- 11 (木) R&B Monkey Soul
- 12 (金) 長井美恵子(p)他
- 13 (土) 原麻未(vo)他
- 18 (木) 鈴木久美子(sax)尾原やよい(p)宗川信(b)
- 19 (金) HAWAIIANハレクラニBOYS
- 20 (土) 小林みつる(vo)松永誠祐(p)野口和生(dr)
- 25 (木) 宮下博行(p)西垣昌也(b)高野正明(dr)
- 26 (金) 辻佳孝(p)若林美佐(b)高野正明(dr)
- 27 (土) 大川YOKO(vo)世古昌義(p)坂崎拓也(b)樋口広大(dr)

■萬屋宗兵衛

TEL.078-332-1963

http://www.soubei.net/

- 6 (土) カネゴズ(ファンキージャズ)
- 7 (日) Jo-Ja(Jazz)
- 9 (火) 鶴賀直士(ts)平岡新(tp)伊沢明子(p)他
- 10 (水) 須藤雅彦(g)
- 12 (金) あざみ(アカペラ)
- 13 (土) いとう翔ボーカルセッション・田村綾(p)
- 14 (日) Babe Magnet
- 16 (火) 1st.USR浅原大輔(g)他/2nd.jo-ji松浦有希子(as)他
- 18 (木) big band
- 19 (金) 平原誠之ピアノリサイタル
- 20 (土) 張智慧&張智仁
- 21 (日) 田澤良介(tp)石原裕也(sax)萬岡大祐(key)南田健吾(g)木下裕介(b)清水勇博(dr)他
- 27 (土) 1st.DUI島田淳平(ts)他/2nd.Y's factory

■WACA2

TEL.078-333-6768

http://www.h3.dion.ne.jp/~waca

- 18 (木) MONKEY DEAD
- 27 (土) O.S.G

■SONE

TEL.078-221-7009

http://kobe-sone.com

- 4 (木) 新井雅代(vo)+トリオ
- 5 (金) 大越理加(vo)+トリオ
- 6 (土) 北莊桂子(vo)+トリオ
- 7 (日) ロイヤル・フラッシュ・ジャズバンド
- 8 (月) 宮野英子(vo)(vo)+トリオ
- 9 (火) ボンビ柿本(vo)+トリオ
- 10 (水) キャンディー・浅田(vo)+トリオ
- 11 (木) 大塚善章トリオ+新井雅代(vo)
- 12 (金) 北莊桂子(vo)+トリオ
- 13 (土) 橋本裕吉ターカルテット
- 14 (日) 鍋島直親カルテット+大越理加(vo)
- 15 (月) 大越理加(vo)+トリオ
- 16 (火) 北莊桂子(vo)+トリオ
- 17 (水) 新井雅代(vo)+トリオ
- 18 (木) 古谷充カルテット
- 19 (金) 辛島寿美子(vo)+トリオ
- 20 (土) ベティ・鞍富(vo)+トリオ
- 21 (日) 橋本裕吉ターカルテット+北莊桂子(vo)
- 22 (月) 大越理加(vo)+トリオ
- 23 (火) 堀江ミカ(vo)+トリオ
- 24 (水) 若宮美和ひきかたり+ギタートリオ
- 25 (木) 長谷川元伸カルテット+北莊桂子(vo)
- 26 (金) 新井雅代(vo)+トリオ
- 27 (土) 大越理加(vo)+トリオ
- 28 (日) シャネット(vo)+トリオ
- 29 (月) 伊福美音(vo)+トリオ
- 30 (火) 木田浩恵(vo)+トリオ
- 31 (水) 南ルミコ(vo)+トリオ

愛読者チケット プレゼント

- 小磯記念美術館「岡田謙三展」(開催中4/11) ペア5組
- 市民映画劇場4月例会「熊座の淡き星影」(4/16・17) シーガルホール ペア2組
- 映画館招待券
- パルシネマしんこうえん(湊川公園) 2名
- 3/4 10「愛してる、愛してない」パンチドラック・ラブ▽
- 3/11 24「デブラ・ウィングを探して」永遠のマリア・カラス▽
- 3/25 4/2「東津キャッツアイ」アイデン&ティティ
- ペレシネマ(西区) ペア5組
- 3/6 4/16「イノセンス」▽
- 3/6 4/16「ドラえもん」のび太のワンニャン時空伝▽
- 「パーマン」▽4/17 5/7「クレヨンしんちゃん」夕陽のカスカベボーイズ▽4/17 5/28「名探偵コナン 銀翼の奇術師」
- シネマザイク(ハーバランド) 2名
- 2/28 3「マスター&コマンドー」▽
- 3/6 4「ドラえもん」▽3/13 3「プラザ・ペアー」▽4/17 3「クレヨンしんちゃん」▽4/24 3「ホーンテッド・マンション」
- 西灘劇場(灘区水道筋) ペア5組
- 3/6 19「天使の肌」トック・トゥ・ハル▽3/20 4/2「月曜日に乾杯」レポリユーション6

※応募方法

- ハガキかファクシミリで①希望するチケット(劇場名)②住所・氏名③電話番号④今月号の感想を書いて650100111神戸市中央区下山手通2-13-1建創ビル4階(FAX078-3331127・95)「月刊神戸子チケットプレゼント」係までお送り下さい。

ポケットジャーナル



★神戸の粋をエッセンスに
個性的なシルバークセサ
リー誕生

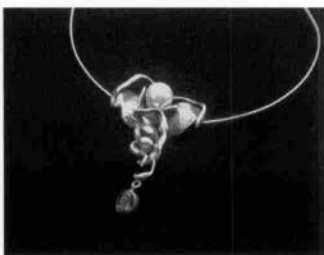
銀板1枚、銀線1本から
丹念に叩いて伸ばし、パー
ナーを掛け、ペーパーで磨
いて、一つ一つ思いを込め
て創った作品の数々。彫金
デザイナー木村早苗が生み
出す世界は、湧き出るイメ
ジを大切にした神戸らしい
デザインであふれている。
先月大阪で開催された個展
でも大好評を博し高い評価

■連絡先

078・857・6486

★春分の日 摩耶詣祭開催

摩耶山には、江戸時代か
ら旧暦2月、初午の日に近
郷在所の人々が馬を連れて
天上寺に参拝し、飼馬の



あなただけのオリジナルデザインをぜひどうぞ

息災を祈願して「摩耶かん
ざし」と呼ばれる「花かん
ざし」を馬に飾り、土産に
「摩耶昆布」を持って帰る
という珍しい風習があり、
この行事は明治の末頃まで
盛んに行われ「摩耶詣」と
言われてきた。こうした古事



仏母摩耶夫人尊

因み摩耶山天上寺では、春
を呼ぶ伝統行事として3月
20日(春分の日)に「摩耶詣
祭」を開催する。午前10
時から天上寺では菜の花御
供、御馬詣など。11時から
まやロープウェー「星の駅」
前広場では、飾り馬のバレ
ード、甘酒の振舞いなど楽し
いイベントが満載。春の季
語にもなっている摩耶詣祭
にぜひどうぞ。

■摩耶山天上寺

078・861・2684

★六甲山牧場 第7回ス
プリングフェア開催

六甲山牧場では今年も爽
しい企画が盛りだくさんの
スプリングフェアを開催。
牛の搾乳やバター作り、椎
茸の駒打ち作業の体験など
家族ぐるみで参加できる催
しがメーイッパイ!!さあ
みんなで春の陽射しを浴び
に、六甲山牧場へGO!
http://www.portnet.ne.jp/
rokosan/

誕生日
ありがとう
運動



四百年不拔の森

作家の立松和平さんがお
社お寺の修理材を確保する
ために、植林「古事の森」
を提唱しています。材質に
よって百から四百年も伐採
しない。木は植えるだけで
は材木にならない。不断の
世話が必要です。

本運動へ十年・二十年と
献金を続けられる方がすく
なからずおられます。神戸
で灯ったこの運動が、ここ
まで進められたのは、多く
の賛同・支援者に支えられ
たからです。

四百年、見守らねば木は
お寺の梁になりません。

知力のハンディキャップ
問題の啓発運動も人間の
一生のスパンよりも長く掛
かるのかもしれないです。
人間本質の問題だからな
のか、関係者の力不足なの
か?

自問し続けながらも、引
き続きご支援をお願いしま
す。

百年の一睡をせり山椒魚
(倉田俊三)

— M

誕生日ありがとう運動本部
〒650・8790神戸市
中央区中町通4・2・11村
上ビルB1
TEL&FAX 078・3
60・12557



重廣恒夫の 山歩き教室 (1)

関西学院大学ワンダー フォーゲル部の遭難に思う



福井、石川県境の大長山（おおちようざん）、標高1671mでおきた関西学院大学ワンダーフォーゲル部の遭難については、人数の多さと無線での交信が煩雑におこなわれたこともあって、新聞やテレビでの報道も多く、学生達の無事を祈った人も多かったのではないのでしょうか。今回は本格的な縦走登山に向けたレベルアップ為のツアースキー合宿でした。ゲレンデでの歩行トレーニングをおこなった後の2月3日、勝山市東山いこいの森から入山し、取手山から大長山を越え赤鬼山を登って6日に小原集落に下山する予定でした。

4日までは順調に前進し予定地点より先に進んだ所でテントを張ったが、5日に状況は一変し、風雪が強まり、降りしきる雪によってテントが埋没し放棄をせざるを得なくなりました。その後雪洞にこもり6日、午後無線で救助要請が

ありました。そして天候の回復した9日午後、それまで待機していたヘリコプターによって次々と救出されました。

なぜ彼らが救助要請を出さなければならなかったのでしょうか。計画書を見る限り共同装備、個人装備、携行薬品などは問題はなく、食料が冬山にしては少ないかなと感じるくらいでした。本来ならば、予備日を含めた10日までは頑張れるはずでしたが、途中でテントを失ったことが致命的でした。必要だったのは4日の天気図を作成した時点もしくは天気予報を入手した時点で引き返す判断をすべきでした。今回のように周りの環境が大きく変化しているのに、自分達（リーダーの経験、メンバー全体の経験と力）の能力を超えた行動（当事者はなかなか判らない）を続行しようとしたことに問題がありました。遭難事故が発生すると装

備や食料が十分であったかどうか、下見の有無などが取りざたされますが、昨今増加している遭難事故を検証する限りモノ不足はほとんどありません。むしろモノをそろえることに一生懸命で、本来必要な体力や技術の養成、経験の積み重ねなどが疎かにされている現実があります。必要なのは「十分な装備」ではなく、「対応できる能力」です。最近の学生達の山行日数は確実に少なくなっています。4年間で習得できる技術や経験は自然の力に比べれば微々たるものですので、経験の豊富な先輩やOB等の同行が難しい場合、SOSを発する前に頻繁な気象予報の取得や、困難な事態に直面した場合先輩に相談するなどの方法が通信機器の発達した昨今では取れるのではないのでしょうか。今回若い彼らが遭難から学び取るものは多くありますが、肝要なのはそれ当人達が今後にどう生かすかです。

（しげひろつねお）

1947年山口県徳山市生まれ。71年オニツカ（現アシックス）に入社。73年エベレスト南西壁の世界最高台（当時）へ到達。77年、日本人としてK2に初登頂。80年、北壁からの新ルートでチョモランマに登頂。88年のチョモランマ交差縦走（日本・中国・ネパールの3国友好登山隊）では、登攀隊長として、世界最高峰を舞台にした世界初の交差縦走を成功に導く。92年、当時未踏の最高峰であったナムチャバールワの初登頂を指揮。96年、日本百名山を13日で連続踏破した。

裏六甲縦走



第6回六甲山トレッキングツアー (2/18)

2月18日(水)、六甲山トレッキングツアーも早いもので第6回となりました。前日まで雨もなく暖かく。その上風もない好天気恵まれた一日でした。只私個人としては足を痛め、12月・1月を休んでしまい不安がっぱいの参加でした。今回のコースは裏六甲の穴場・静かな縦走路とか……。登りはじめてしばらく不安が的中、廻りの方にお手数をかけ申し訳ない気持ちでいっぱいでした。ありがとうございました。トレッキング不足を痛感！

「ストックは漕ぐものではありません。」の声。心身ともに余裕がなく眺望のよいところもただひたすら歩き続けました。少し早い昼食時にいただいた「心のこもった熱いスープ」の味は忘れないでしょう。思いもよらぬ急登・長い急な下り道等、私にとってタフなコースでしたが無事に下山できました。ツアーのお誘いを頂いた時は嬉しく、今は苦しみの連続、楽しみながら歩ける日は来るの？その日の近いことに思いをめぐらせ次回も出かけたくなります。

栗原晶子

海船港

日本初寄港クリスタル・セレニティ乗船記①
文・上川庄二郎



■かみかわ しゅうじろう
1935年生まれ。神戸大学卒。
神戸市に入り、空港対策室長、消防局長を経て定年退職。現在、関西学院大学、大阪産業大学非常勤講師。



一 フロローク

浜松在住のYさんから、「上川さん、今年（2003年）7月に就航したクリスタル・セレニティをご存知ですよ。この船が今度日本に初めてくるんですよ。出来ましたらあなたと一緒したいと思っていますね。私も、このところ体調を崩しましてね、車椅子生活の身になっているんですよ。これが最後のクルーズと思いついてね」との手紙が届いた。Yさんは、元外航船の船長さんで、今はご夫妻で世界を舞台に船旅を愉しんでおられる御仁である。

クリスタル・セレニティは、日本郵船がアメリカに設立したクルーズ船会社であるクリスタル・クルーズ社が、姉妹船クリスタル・ハーモニー、クリスタル・シンフォニーに続く第三船として就航させた大型船で、今の日本のクルーズ船とは比べようもない豪華客船だといえる。というのも、このクリスタル・クルーズ社が今日までラグジュアリーシップとして世界最高の評価を得てきたという実績があるからに他ならない。だが、この会社は日本の船会社社ではないし、船もすべて外国船。

さて、乗ると決めると、気になることがあるではないか。そう、初入港の外国クルーズ船に対して、神戸港がどこまでホスピタリティのいい歓迎ができるかを自分の目で確かめる絶好のチャンスになる。そうとなれば善は急げ！とばかり、みなと総局の幹部の皆さんに、「日本初寄港、しかも広島、神戸、名古屋、横浜、清水と日本の五つの港に寄港するこのクリスタル・セレニティに対して、神戸港はどんな歓迎ができるのか、どのようにしてホスピタリティをアピールするのか。この5港の中で、神戸港が一番だったと言ってももらえるような歓迎行事ができないものか、ぜひとも頑張ってください」などと訴えて回った。

二 いざ、グアムへ

今回のクリスタル・セレニティの航海日程は、1月19日にロスアンゼルスを出航し、ハワイ、グアム、日本（広島、神戸、名古屋、横浜、清水）を経て、上海、香港、ベトナム、タイ、シンガポール、インド洋、アフリカの各地を寄港しながらケープタウンをぐるっと

回り、南米各地にも寄港して、5月5日にニューヨーク帰港、という108日間のワールド・クルーズ。私たちは、この間を区間クルーズでグアム・神戸間(2月5〜12日)を乗船しようというものである。

2月4日、関西空港からグアムに飛んだ。着後、ホテルで一泊し、翌5日午後、アブラ港でセキユリティのための厳しい出国検査をパスしようやくクリスタル・セレニティの人となった。17時、船はアブラ港を後にサイパンに向けて出航。早速、Yご夫妻らとディナーを一緒にしながら歓談のひと時を過ごした。

一夜明けて、クリスタル・セレニティは、サイパンのチャーリー・ドックに着岸。もう再び来ることもないだろうと、半日観光に出掛けてみた。バンザイクリフの断崖に立って、戦没者や島に移住して犠牲になられた人々の慰霊碑が立ち並ぶのを目の前にすると、思わず胸の押し詰まるのを覚えずにはおられなかった。

ここサイパンは、太平洋戦争で南雲海軍中将の率いる日本軍玉砕の地。この後、日本軍は硫黄島、沖縄と敗退し、広島、長崎に原爆を投下されて敗戦を迎える。皮肉なことに、日本最初の寄港地がその広島とは。サイパンから広島までは4泊5日、いよいよ本格的なクルーズの始まりである。

三 クリスタル・セレニティ

まずは、今回始めて乗船したクリスタル・セレニティについて触れておかなければならない。

クリスタル・セレニティは、姉妹船クリスタル・ハーモニ、クリスタル・シンフォニーとは別タイプの名前である。辞書を引いてみると、*Serenity*とは晴朗、静穏、沈着といった意味である。この意味からすると、前二船の融合的な和のイメージと比べやブライベイトな雰囲気をもつ船をイメージしたのだろうか。

このクリスタル・セレニティは、2003年7月に地中海で初就航した新造船。総トン数68870トン、全長250メートル、幅32・2メートル、喫水7・6メートル、航行速度22ノット(最高23ノット)。乗客定員は1080人、乗組員は、ノルウェー人のキャプテン以下世界各国(40か国)出身で655名。もちろん日本人クルーも乗り組んでいる。デュブティ・キャプ

テン、機関長、一等航海士、アクティビティズ・ホステスの他すしバーの職人さんなどである。

今回のワールド・クルーズで日本に初寄港するのが、姉妹船のクリスタル・ハーモニ(49400トン)、クリスタル・シンフォニー(51044トン)に比べて約30数%もスペースを増やしているのに比し、乗客定員は15%しか増やしていない。しかもキャビンはずべて海側で、そのうち85%がベランダ付、バススタブは全室完備ということだから居住性に重点を置いていることが理解できる。もとよりパブリック・スペースも相当広くなっているはずである。邦船の飛鳥、ばしふいっく・びーなす、にっぽん丸、ふじ丸などとは比べものにならない。その上、コンピュータ・ルームもあり、メールやデジカメのプリントなどわけなくできる。私などは、暇を見てこの原稿を少しずつここに通って書いた。こんなサービスは日本の客船では出ない。

この他、日本人に対するコミュニケーションが他の外国船と比べても格段によい。毎日配られる船内新聞やレストランのメニューは日本語版で提供され頭を悩ますことがない。その上、困ったときには、日本人女性のアクティビティズ・ホステスが乗船しているからまず不自由することはない。クルーの皆さんも片言ながら日本語で対応しようと努力している。

日本のクルーズ人口が伸び悩んでいるといわれる中で、この船では皮肉なことにグアムからは日本人乗客が4分の1を占めるほどの人気なのである。こうしてみると、日本人のクルーズ人口もこれからもっと伸びてゆくんじゃないか、「クルーズは、1400兆円の資産を持つ高齢者の消費だから、日本経済の需要喚起策や雇用対策になり得る」(竹村健一)という、私もそのとおりだと思う。ただ、これが国内クルーズ船でなく外国クルーズ船に流れてしまうとすれば少々思惑外れではある。しかし、ここは逆手にとってもっと外国船を誘致するようにしたらよい。そのために国内のクルーズ船社、エージェンツ各社、港湾管理者にはもっともっと頑張ってもらいたいところ。もちろん、神戸市や商工会議所にもこれまで以上に努力し頑張ってもらわないといけないのは当然である。

ナゾ多い私生活

中右 瑛

北斎の私生活も、またナゾに包まれている。特に妻や子など家族関係者には不明な点が多い。

北斎は二度の結婚歴があり、男二人、女三人の合せて五人の子供がいたという。六人という説もある。

最初の結婚期や妻の名は不明だが、その妻との間には三人の子供が生まれたことは確かである。

長男は富之助。長女・お美与。次女お鉄。

しかし、幸福な家庭に突然不幸が襲った。最初の妻が寛政六年（一七九四）に死亡したのだった。三人の幼な児をかかえた北斎は途方にくれた。そんな苦境を救ってくれたのが後妻のこ

と女だった。後妻との間には二人の子をもうけた。

次男・多吉郎。三女・お栄。このお栄が北斎ミステリーに深く係ることとなる。

そのことは後で述べるとしよう。

後妻のこと女は前妻の子を加えて、五人の子の面倒



を見たことになる。

中島家の後継者となった長男・富之助については早速世したと伝わるが、何歳だったかは不明だ。

長女・お美与は成人して北斎の弟子・柳川重信と、文化十年（一八一三）ごろに結婚し、男子を生むが、夫婦仲が悪く、文政五年（一八二二）ごろに離婚する。お美与はまだ年少のわが子連れて実家に戻る。後妻こと女は、病気がちのなきぬ仲のお美与とその子の面倒をなにくれとなく看るのだった。お美与はまもなく死亡した。

北斎は初孫に当たるお美与の子をいじらしく、不憫に思い可愛がった。しかし、その子には実は大の問題児であった。少年期からぐれて人様に迷惑をかけ、北斎もこの子には手を焼いたという。この子を、別れた婿の重信に引き取ってもらうが、重信は天保三年（一八三二）に死亡。享年四十六歳。問題児はまたまた北斎の許へと戻ってきた。問題児は成人し、バクチ、借金など放蕩の限りをつくす。

北斎七十五歳のとき、突如、三浦半島に隠居したのも、実はこの孫のせいである。孫がバクチ等で借金を抱え、保護者である北斎が裁判沙汰となり負けて、江



北斎家系図

戸追放となったからだ。詳しくは「たびたびのナゾの旅」で述べる。

この問題児の孫との係わりは、北斎晩年までつづく。次女・お鉄は画才あり、絵を描いていたというのが、結婚後、死亡したと伝わる。詳しくはわからない。

後妻・こと女の子、次男・多吉郎は御家人・加瀬氏の養子となり、崎十郎と改名した。その後の記録はない。

寛政十二年ごろに出生した三女・お栄については、

編輯 畫圖

高井蘭山著
應為榮女筆

弘化四年丁未初春

大坂寄場通北久太郎
本居通一丁目

淺草町二丁目

豐神町前

本町十軒居

日本橋二丁目

同所

横山町三丁目

河内屋喜兵衛
須原屋茂兵衛
同伊ハ
岡田屋嘉七
英大助
山城屋佐兵衛
小林新兵衛
和泉屋金右衛門



お栄のさし絵本『女重本記』(1847) 高井蘭山著

明治の研究家・飯島虚心著『葛飾北斎傳』にも詳しく登場する。北斎の重要なカギを握る娘である。

このお栄は天才的な画才あり。画名を応為^{おえい}という。絵師・提等琳の弟子・南沢等明に嫁ぐが、等明は余りぱっとしない絵描きであった。そんな夫に嫌気をさし、未練なく離婚。実家に戻る。母のこと女が文政十一年(一八四〇)六月五日に死んで、淋しい北斎と、問題児の甥の世話を焼くこととなる。

画号を「応為」というのも、北斎がお栄さんのことを「オーイ」「オーイ」と呼んでいたのを、いつの間にやらペンネームにしてしまった。お栄さんもなかなかシャレ人である。

しかし、「オーイ」と呼んだのは、お栄さんの方で、お栄さんが父親北斎に「オーイ親父どの」「オーイ親爺どの」と呼んだ……という説もある。

このお栄さんは、天才絵師の異名をとっていたにもかかわらず。「応為」署名の作品は殊の外少ない。このことも不思議で、おそらく、お栄さんは北斎の代筆ばかりしていた証拠であろう。そこで影武者説が浮上する。

お栄さんと北斎、そして孫との三人の生活は、実に人間臭く、また奇々怪々、ドラマチックで面白い。北斎の晩年の人生に大きな影とミステリーの影を落としているのである。

早世した四女・お猶がいたというのが、これについてはまったく不明である。過去帳にある文政四年十一月十三日没の女子は、このお猶のことか、またはお美与のことかわからない。

■中右 瑛(なかう・えい)

抽象画家。浮世絵・夢二エッセイスト。一九三四年生まれ、神戸市在住。行動美術展において奨励賞、新人賞、会友賞、行動美術賞受賞。浮世絵内山賞受賞。半どん現代美術賞、兵庫県文化賞、神戸市文化賞など受賞。現在、行動美術協会会員、国際浮世絵学会常任理事。著書多数

■みだら夜話／第十四回

かしく祭り

あさき まだら

浅黄斑〈作家〉

絵・犬童 徹

さてさっそくながら、例の手まり歌の三月分を
ご披露しよう。

ああ好いや好いと、指で悪じゃれ、憎とふつ
り桃の節句は、潮干というて、痴話のこたつに、
足で貝踏む、衆道好きこそ高野御影供や――

好いや好い、のなかに、しっかり「弥生」とい
うことばがひそんでいるのを、まずはお見逃しな
きように、と喚起して、それにしてもまあ、これ
は、むずかしそうななかに、ずいぶんと、みだ
らな連想を呼び起こす歌詞ではありませんか。

桃の節句は三月三日。この女の節句に桃花を飾
り、白酒、菱餅、炒り豆、蛤を供えるのはなぜか。
みだら流に解き明かさずとも、すべて学術的な定
説があります、と、大上段に振るかざすこともあ
りますまい。都々逸の文句に「桃もいやなら桜も
いやよ。ももともとの間あがよい」てのがあり

ますが、つまりは桃は、女性自身の象徴でありま
す。小生思うに、今は死語とも化した「桃色遊戯」
なる懐かしきことばにも、この概念が入っていた
のではないのでしょうか。

三月とはいえ、まだ肌寒くて、男女差し向かい
にコタツに入るんですね。で、痴話――エッチな
話をしながら、男が足を伸ばして、女性の両腿を
こじ開ける。足の指がけしからぬ悪じゃれをはじ
めると、女性のほうも「好いや好い」となって
「まあ、憎い」となるんですね。憎と肉の掛詞も
お忘れなく。桃の節句に炒り豆と蛤を供える、と
書いたのを思い出してください。いずれも女性の
象徴ですよ。 「足で貝踏む」まさにコタツの中
の状況をいっております。

でもそれだけじゃありません。旧暦三月の初め
ごろには潮の引き差しの激しい大潮がきて、三月
は潮干狩りの季節でもあるのです。住吉社では潮
干祭りなんてのがありました。江戸前期の仮名草



紙である「浮世物語」に、「何より面白きは三月三日の潮干の遊也」と記されておりあります。

三月二十一日は、弘法大師が高野山の奥の院で入定した日で、この日を中心とした一週間、全国各地の大師関係寺院で弘法大師の徳を追慕した祭りが開かれます。これが御影供であります。

ええと、衆道というのをこ存じでありましょうか。これを語りはじめると、一冊の本になってしまいますので、多くは語りません。一口にホモとかゲイとか呼ぶには惜しい我が日本国の精神史があります。数年前、小生は「ちょんがれ西鶴」という長編時代小説のなかで、史実でもある「衆道の殺人」というのを扱いましたが、興味ある方は読んでみてください。

それはともかく「衆道は弘法に始まる」といわれます。元々は日本になかったこの文化を、留学先の唐から持ち帰ったのが空海、すなわち弘法大師だったというものです。つまりは、そういう含みがあるんですね。

この手まり歌には出てきませんが、三月十八日は、大阪・曾根崎の法清寺というところで「かく祭り」というのがおこなわれます。こ存じの方は、よほど文楽に造詣が深い。

かしく、というのは、曾根崎新地の遊女の名で、酒乱の果てに殺人を犯し、千日前の刑場で露と消えました。その命日が祭りの日となっております。「曾根崎心中」のお初、徳兵衛が浄瑠璃芝居になって大ヒットしたように、昔の文楽は、まさに現代

のワイドショーです。遊女かしく殺人事件も「八重霞浪花浜萩」となって大ヒット、こうしてかしく墓がある法清寺は、かしく寺とも呼ばれて、その墓石を削って飲めば、酒乱に靈驗あると伝えられるにいたりしました。今も酒に悩む多くの参拝客があるんだとか。

今はワイドショーですが、昔風にいいあらわせは、こういった事件ものを扱った記事を「三面記事」といいます。で、この三面記事の発明者はいうと、「巖窟王」とか「ああ無情」などを翻訳して日本に紹介した作家でもあり、我が国で最初に探偵小説を書いた人でもある黒岩涙香という人物。この人がつくった「万朝報」という新聞の三面に、ゴシップ記事を掲載したことが始まりなのです。

あ、なんだか脱線中ですね。実はこの黒岩涙香が十七歳のころ、大阪英語学校の学生だった。明治十二年のころです。この黒岩少年が探偵役となって「かしくのかじか」事件をはじめとする浪花の七不思議に挑むお話が、小生の最新刊で祥伝社のノンベルスとして現在発売中。タイトルも「かしくのかじか」であります、と宣伝もして、まことに粗末さまでございました。



■浅黄斑（あさぎ またら）推理作家。一九四六年神戸市生まれ。西神ニュータウンに在住。一九九二年小説推理新人賞。一九九五年日本芸文家クラブ大賞を受賞。日本芸文家協会、日本推理作家協会などに所属するとともに、日本芸文家クラブ関西支部長。（きょうも風さえ吹きます）「ちょんがれ西鶴」「走る死体」「神戸・真夏の祭りに殺人事件」など著書多数。

やんちゃ

出石 アカル

絵・菅 原 洸 人

「いつもきれいな花がありますね」と飾られた花を見て言っ下さる人もあるが、うちの店の男性客は無粋な人が多く、花にはほとんど興味を示さない。そして彼もその一人。

「サクラ、チューリップ、アサガオ、ヒマワリ、それからコスモスぐらいかな」

原義弘さん、51歳。彼が分かる花の名前すべてである。

この原さん、子どものころからケンカ大好きのやんちゃ坊主。うちの店には、ケンカの強い人が



ホント多いが、彼も行く先々の学校で番長を張って来たという。ロック歌手の宇崎童童に似ているが（そんなエエもんか？という声あり）、体格は立派、本気になった時の眼光も鋭く、真に男っぽくて、花を愛でるなどということは日頃まずない。それが今では、ある食品会社の営業部長さんである。

そう言えば彼には、前にも一度この欄に登場してもらったことがあった。自分の奥さんを久しぶりに知人に合わせ、奥さんが帰った後で、うちの

嫁はん年いったやろと言ひ、そんなことないと否定する知人に、無理やり同意させておいて、家に帰って、あいつがお前のこと老けたなあ、てゆうてたぞ、と言った人である。とにかく型やぶりの人なのだ。

その原さんが真面目に心配している話。

「マンションの下で、毎晩夜中までうるさいんや。暴走族のたまり場になっとんねん。その夜も五、六人が来て騒ぎよった。寝られへんからアツタマ来てもて。そやけど俺も昔ほどの元氣はもう無いし、一人で行くんはちょっと恐いから、息子の部屋ノックしたら、俺の気持ちを読み取りよって、『お父ん行くか』ゆうて、あつという間に喜んで先に飛び出して行きよった。あいつも頭来とったんやろ。息子が『コラッお前らっ!』ゆうて叫んだ途端に、中の一人が『ヤバイッ』ゆうて、クモの子散らすように逃げて行きよった。息子の顔見て脅えよった。そいつら息子のこと知ったたんや。それから姿見せんようになって、近所の人に礼言われたがな。そやけど俺、心配やねん。息子、俺と同じ性格しとるんや。俺の若い時そっくりやねん。ほんま俺、心配やねん」

その息子さんに、長く付き合っている彼女がいて、彼は一度会ってほしいと言われていたのだが、忙しいとか何とか理由をつけてまだ会ったことがなかったのだという。だけど今度こそと言われて、日曜日に会うことにしたというのだ。それが選りにも選って、パチンコ屋に呼び付けたと。やがては息子の結婚相手になるであろう娘さんと、初め

て会う場所にパチンコ屋を指定するとはあきれた話である。しかも彼女と息子さんが指定のパチンコ屋に行った時、彼は一人で二階の事務所に抗議に行っていたのだという。朝から打っていて負け、

「日曜日は出さんのか？それやったら日曜日しか来れん客はどないするんや。ええ加減にせえよ」と、彼によれば紳士的に話し合っていたという。

さらに彼のやんちゃ話。

「俺、営業しとるやろ。昼間はお客さん相手にしゃべることばかりやがな。そやから家に帰った時ぐらい静かにしときたいんや。ところがや、疲れ果てて帰るとるのに、うちの嫁はん、うるさいんや。俺が帰るん待って、近所のことやら、親戚のことやら、しまいにテレビで見た話まで、次から次に、なんぼでも話しよるんや。ほんで昨夜、いつもやったら辛抱して聞いたるんやけど、昨夜は俺、ほんまに疲れとったんや。そやから丁度そばにおった猫のトラに『おいお前、ちょっと相手になつたれ』ゆうて、嫁はんの方へボーンと放ったったんや。そしたらトラ、思いっきり嫌な顔しよった。『なんで俺があんたの代わりに相手せなあかんねん』ゆう目えで俺の顔ジロツと見よるんや」

いずし・あかる 43年兵庫県生まれ。「風蓮花」「火曜日」同人。兵庫県現代詩協会会員。詩集「コーヒーカープの耳」(編集工房ノア刊)にて、2002年度第31回ブルーメール賞文学部門受賞。

■新連載小説／③

鏡の中のサングレイ

中野 順哉

絵・題字 平田 郁



「実は何も決めていないのです」

休六は紳士に打ち明けた。自分がどの生まれで、どのようにして育ち、そして父に突然出て行けと言われたこと、なぜ今船に乗って神戸に行くこととしているのかということ、その全てを休六は紳士に話した。

紳士は時折「ふむ」とか「ほう」といった簡単な相づちをうってはいたものの、一通り休六の話が済むまで腰を折ることなく、黙って聞いていた。「つまり、僕は父の期待を裏切っているのです。こうして神戸に向かっていること自体が裏切りなのです。……いえ、最初からそんなふうには思っていなかったのですが、何だかあなたの話を聞いているうちに、僕がいかに弱虫でどうしようもない卑怯者に見えてきて……」

紳士は煙草の煙をふかすと、ふうっと一息間をおいて「で、私にそういった話をしてくれたというわけだね」と言った。休六の話を聞いているうちに、紳士も随分うち解けた口調になっているようだった。休六は静かに頷くと申し訳なさそうに頭をかいた。紳士はそんな休六の仕草をさも楽しそうに見つめると、煙草を海面に投げ捨てた。

「いや、君はちっとも卑怯なんかじゃない。むしろ：勇敢と言った方が良いように思うがね」

「勇敢：ですか」

「ああ、勇敢だ。例えどのような結果であれ、そうやって何事も真摯にとらえようとする姿勢を日本語で勇敢というのではないかな。君は答えてない自分をごまかそうとして船に乗ったと言ったが：船に乗っていてもスクラップブックを見つ

めている君の姿勢は、少なくとも私には美しく見えた。君は川内の士族の家に生まれたそうだが：やはり薩摩隼人だ。一本気なところが実に侍だ」
「しかし：父はその侍だとか、薩摩隼人だとかを捨てて国を出ると言いました。でもあなたは僕が薩摩隼人だと言って喜んでくださる。そして肝心の僕は何をすべきか決めかねている」

「君は欧米に行きたいと思ったことはあるかい。一度でも行けば今悩んでいることなどすっかり吹っ飛んでしまうよ」

「そんなにすごい所ですか」

「すごいなんてものではない。確かにここ数年で日本は欧米に追いついたかのように見える。戦争にも勝ち続け、世界の五大国の仲間入りも果たした。しかしそれは形骸に過ぎない。格好ばかり整えて、中身はからっぽだよ。欧米に行けばその中身の本质を見る事が出来る。おとき話ではないが、『自分の本当の姿』を魔法の鏡に映して見る：といったところだろうか」紳士はまた一本煙草に火をつけて続けた。

「まるでアジアの一国であることを放棄したかのように、日本は欧米化することによってになっている。そのくせ連中の文化の本质を知ろうとはしない。連中が何を模索し、何を体験し、そして何を結論としたのか：いずれこの国は踊らされるだろう。だんだん思考の規模が萎縮して、誰も国家のことなど考えようとしなくなる。いや、下手をすると自分が日本人であることも意識しなくなるのではないかな。それを忘れると、一国の経済の話と一家庭の家計の話を混同し、自分たちの暮ら

しが良くならないのは政治が悪いからとか、税金が高いから……などと責任を転嫁し始める。あるいは手塩にかけて育てた子供を兵隊に取られるのは嫌だなどと言い、動物としての掟自身も忘れてしまう。そうなればこの国は滅びるに違いない」

「しかしあなたはさつき、文化を根底からくつがえさなければいけない。大場氏のような人物の努力こそが、これからの日本を変えてゆくのだと信じていると言っていたではないですか」

休六は紳士の顔を食い入るように見つめた。紳士は相変わらず煙草を吹かしながら、海の向こうをぼんやり眺め、力強く答えた。

「そうだと。その通りだよ。欧米の歴史は君も学んだだろう。そしてかの国々には多くの戦いがあり、発明があり、そして文化があったことも知っているはずだ。デモクラシーという今のはやりも、彼らの中から生まれた。彼らは常に何が人々を絶対的な幸せへと導くのかを考えてきたのだよ。そして真剣に崇高な思想が、この世の中を変えてゆくと信じたのさ。ところが現実はそうではなかった。現実にはね……いかなる思想も、文化も、結局は経済という強力な「力」にはかなわなかったのだよ。彼らの本質……それは失望だ。連中にしてみれば、日本のようにあとから何も犠牲をはらうことなく付いてきた極東の小国など、苛立たしい存在にしか見えないだろう。少なくとも心から歓迎してくれるはずはない。戦勝国だ、五大国だ……冗談ではない。踊らされているのだよ。よほど心してかからねば、この国は腐敗するだろう。」

ただし……この列強たちの仕掛けた勝負にたった

一つだけ勝利できる可能性があるように思う。それが今君の指摘したことさ。彼らの文化を今でできるだけ多くこの国に吸収させる。しかもできるだけ忠実にね。そうしてじっくり時間をかけて熟成させるのだ。それまでは他のアジアの国から何を言われようと知らぬ顔をしておくことだ。一〇〇年もすればあらゆる欧米の文化が国産でまかなえるようになるだろう。その一〇〇年の間、欧米は日本の文化などに見向きもしない。白人だけで行われる歌舞伎なんて想像できるかい。そこがねらい目だ。その時になって地球という大きな天秤で我が国と欧米を秤にかけたとき。どちらの国に、唯一無二の文化が多くあるだろうか、どちらの国により強力な存在意義があるだろうか……そうやって初めて欧米は我々の存在を認めるだろう。本当の意味でね。この遠大な将来の夢を実現させるもの。それが日本唯一の精神性……つまり自己犠牲の美意識さ。いわゆる「武士道」だ。真実を見る鏡に自分を照らしたとき、そこに侍が立っているかどうか……君は今そのことを考えているんだよ。四六時中ね。実に勇敢じゃないか」

紳士は煙草をまた海に捨て、休六の両肩をぼんと叩いた。休六は何かを言おうとしたが、言葉になりそうになかった。

「さあ、そろそろ神戸だ。がんばりたまえ。機会があればまた会うこともあるかもしれない。その時にはまたじっくり話を聞かせてくれたまえ。神戸に着いたらまず、外国人居留地に行くべきだ。特にオリエンタルホテルに行ってみるのが良い。あそこは文化の坩堝だ。あ、そうだ。もし私の話で



理髪に興味を持ってしまったというなら、その理髪店に行ってみると良い。紺谷という人がやっている。といってもそんな時代おくれの洋服を着た東洋人が突然やって来てても中へ入れてくれそうもないな。紹介状を送っておこう。理髪店にしろ、レストランにしろ、ホテルでは日常とはまた違った世界を目にすることになるだろうから」

港に着くと小さなトランクをひょいと右肩に担いで休六は小走りに栈橋を渡った。そして脇目もふらずに「外国人居留地」へと向かっていった。

「それにしてもすごい人に会ったものだ。何だかあの人の話を聞いていると、お尻に火がつきそうだな。すっかり聞き入ってしまった、名前を聞くのを忘れてしまった。コンタニニとか言ってたな。紹介状を書くって。でも僕だって名前を言っていないぞ。どうやって紹介状なんか書くんだろう」と歩



きながら休六はひとりごちた。お互いに自己紹介

もしそびれた紳士との出会い。不安も多かったが、

休六の歩く早さは一向にゆるむことはなかった。

その歩みはまるで誰かと約束をしているかのよう

に、使命感に燃え、そしてどこか軽やかだった。

一五分ほど歩いた頃、休六は「目的地」に到着し

た。

「これが…神戸か…」

休六はぐくりと唾を飲み込んだ。

* * *

神戸：現代でもこの街にあこがれる者は少なく
ない。明治維新以降、もっとも大きな変化を遂げ

た街の一つであり、またごく最近まで当時のおもかけを残していた街でもある。ここに居留地を設けるように初代英国公使オールコックが指示したのは文久元年のことであったが、尊王攘夷運動など幕末の不穏な空気の中、実際「兵庫津」が開港するのは横浜開港の一〇年後、慶応三年のことであった。そして居留地は日本人と外国人の紛争を避けるため、当時の兵庫市街から三、四キロメートル離れた砂浜と畑の「神戸村」がその造成に割り当てられることになった。「神戸」の歴史はここに始まる：まさに砂の上に突如「近代都市」が現れたようなものだった。

神戸に居留地が出来たのは慶応四年。定められた範囲は、東は旧生田川、西は鯉川筋、北は旧西国街道、南は海岸線という約五〇〇メートル四方の狭い地域であった。慶応四年の後、明治二年、三年、六年の競売で一二六区画は完売し、数年後には全容が整った。

この居留地には特殊な自治組織が形成されていた。街の運営や行政は各国領事、兵庫県知事、登録外国人で構成される「居留地会議」が担当し、道路、下水、街灯などを独自に整備し、その管理までも行っていた。財源は借地権の競売から得られた収入と、毎年徴収する地租。また居留地会議は警察をも独自に組織した。この優秀な自治組織のもと、神戸外国人居留地は「東洋における居留地としてもっともよく設計された美しい街」だと評価されるにいたったのである。

突如現れた「近代都市」の勢いはその後日本の食・スポーツ・文化のあらゆる方面に影響を与え、

多くの「日本発祥」を生み出していった。例えば慶応年間に横浜の商館が購入し世界中の舌を魅了した「神戸ビーフ」や、明治四年に登場した日本初の牛肉専門店。コーヒー豆の卸輸入。シーム商会の「ラムネ」。一升瓶入りの清酒。国産のソー。菓子の名匠ゴンチャロフのウイスキーボンボン。映画。ゴルフ場。日本初のジャズバンド「井田一郎とラッフィンク・スターズ」。国産の蒸気機関車や電気機関車、そして日本初の寝台列車。「土足のまま入れる」デパート：など。こういったものが全て現代人にとっては日常的なものとなっている。「現代」を築く上で、この都市が担った役割の大きさを思い知らされる。

「東洋一」の居留地は明治三二年、日本政府に返還された。同時に多くの日本人がこの「聖域」に入り、大正から昭和初期にかけてここはビジネスの中心地として生まれ変わったのであった。

今、休六は壮麗な洋館の前に立っていた。それは明治四〇年にドイツ人建築家ゲオルク・デ・ランデが設計した「オリエンタルホテル」だった。まさに「居留地文化」の心臓部に彼は立っていたのである。大正一二年。有馬休六、一七歳の春のことであった。



■中野願蔵（なかの げんぞう）

一九七〇年生まれ。関西学院大学文学部フランス文学科卒業。日本テレマン協会代表代行。上方講談の作家でもあり、すでに二十を超える作品が上演されている。



駱駝に乗る楽人
(三彩 唐代)



「アダン」の木

プレゼントメイト



■プレゼントメイトへのご応募は…

ハガキ・FAXに、希望する
プレゼント名・郵便番号・住
所・氏名・年齢・職業・電話
番号・今月号の感想を明記の
上、下記宛先にお送り下さい。
なお、商品の発送をもって発
表にかえさせていただきます。
応募宛先〒650-0001 神戸市
中央区下山手通2-13-3建創ビ
ル401（有）月刊神戸っ子プ
レゼント係
TEL. 078-331-2246
FAX. 078-331-2795



高品質の花粉マスクNEWクリーンメイト

★長安 陶俑の精華

「汗血馬と美女の系譜をたずねて」

ミホ・ミュージアムでは、春季特別展「長安 陶俑の精華」を開催する。この招待チケットをベア5組にプレゼント。

今回の展示では、長安周辺から出土した漢から明にいたる歴代王朝の人物俑や動物俑に、所蔵品をあわせ計132点で構成されており、中でも唐時代の俑は選りすぐりの名品ぞろい、古代中国の人があがれた西方の汗血馬や、美女たちの変遷が辿れる。
陽春の琵琶湖へ、シルクロードのロマンを探しに出

かけてみてはいかが。

■開催期間／3月16日（火）～6月10日（木）。10時～17時まで。毎週月曜日休館。

■ミホ・ミュージアム／滋賀県甲賀郡信楽町桃谷300

☎0748-8213411

http://miho.jp

★奄美を描いた画家

『田中一村展』開催

奄美群島日本復帰50周年を記念し、奄美を描き続けた孤高の画家「田中一村」の全貌と魅力に迫り奄美時代の代表作をはじめ、初公開作品を含めた約130点を展覧し、画業60余年のすべてを紹介する展覧会が開

かれる。この展覧会のチケットをベア5組にプレゼント。

奄美の自然を描き、鮮烈な生涯を綴った一村の生き方が現代人の心に深い共感と感動を与える。

■開催期間／3月17日（水）～29日（月）。10時～19時半まで。

■大丸ミュージアム・心斎橋「本館7階」

★花粉シーズンには「NEW クリーンメイト花粉マスク」を

またまたやって来た花粉のシーズン。㈱重松製作所では、防霉・防じんマスク専門メーカーのノウハウを生かし、高性能「NEW クリーンメイト花粉マスク」

の販売を開始した。

つけてもきれいな立体構造で、口紅がつかず、当ても清潔。お出かけにも気軽に使用でき、呼吸も会話も楽に行える。この花粉マスクを10名にプレゼント。今年もクリーンメイトで花粉をシャットアウト！（メーカー希望小売価格800円）

★お肌のトラブルで困っていませんか？

オーガニックハーブ、植物油オイルのみを原料に100%天然手作りの石けんが、パリモンント州の田舎町より日本に上陸。32日間かけて熟成させ、肌にやさしく、心にもやさしく、地球にやさしく出来上ったこの「パリモンントソープ」を5名にプレゼント。世界で一番マイルドな石けんをぜひお試し下さい。

http://nigakivsi.com